**平成２９年度第１回大阪府がん対策推進委員会**

**がん診療拠点病院部会（概要）**

１．日　時：平成29年8月17日（木）午前10時～

２．場　所：大阪国際がんセンター　6階　大会議室

３．議　事：（1）第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について

（2）その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

（1）第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について

【意見要旨】

①がん診療拠点病院の機能強化について

○「機能強化」をするための財政サポートが必要である。計画に「財政

サポート」に係る文言をいれてほしい。

○「財政サポート」の文言を入れるのは難しいかもしれないので、「府が

支援する」という文言を入れてはどうか。

○拠点訪問病院は、訪問される側にとっても刺激となる。都道府県がん診療拠点病院の役割として計画に明記するのはどうか。

○拠点病院訪問は大阪府のみが実施している先駆的な取組みであり、一歩踏み込んだ文言を入れてもいいと思う。

○患者協議会でとりまとめた意見として、拠点病院間の格差をなくして

ほしい。転院患者を受け入れる体制は不十分だと思われる。

○格差のなくし方としては、要件を厳しくするか、それともより現場に

合わせるかの２通りある。国拠点病院の要件の見直しにおいてもその

点は議論となっている。その件はまた来年度の部会で議論できればと

思う。

○国の基本計画（案）では、ゲノム医療についてふれている。府も記載

してはどうか。

②がん対策を社会全体で進める環境づくりについて

○社会全体で推進するために、企業や医療関係団体との連携が必要とあ

るが、「教育関係者」も入れてはどうか。がん教育というのは大事な要

素である。

③就労支援について

○就労支援についてであるが、夜間に治療できる病院への支援を考えて

ほしい。

○夜間診療については、職員への健康配慮なども必要である難しい問題

である。どこかに文言をいれられればよいが。

○働き方改革もあり、医師の労働時間が問題になっている中で、夜間診

療の問題は難しい。

④緩和ケアについて

○告知時に、患者に対して、医療知識のある人材のフォロー体制が必要

ではないか。

○「緩和ケアの推進」において「質の高い緩和ケアの提供」に関する文

言があるので、そこに「診断時から」という形で組み入れてはどうか。

○目標項目に５年生存率を入れている点について、個々の病院の数字が

分からなければよい。（府全体としての数字ならばよい）

○がんのステージ別にするなど５年生存率の見せ方に工夫してほしい。

○目標の設定に数字を用いるのはわかりやすいが、質がはかれないこと

が課題である。目標として地域連携クリティカルパスの件数が記載さ

れているが、この数字だけでは実際の連携の度合いははかりづらいの

ではないか。

○やはり件数を出すと、その数字だけがひとり歩きすることとなる。

○患者の紹介率では難しいか。

　　　　　（2）その他

①今年度の府指定拠点病院の新規募集について

○前回の国指定拠点病院にかかる指定要件の見直し検討の際は、国として

は、検討期間中は新規募集を停止していた。今年度、国において指定要

件の見直し検討が予定されているところであるが、現時点で、国の対応

については未定という状況。今年度の府指定の拠点病院の新規募集の取

扱いについて検討を行った。

【審議結果】

○国が拠点病院の新規募集をしない場合には、前回と同様、今年度の府

指定拠点病院の新規募集は行わないという対応とする。